

高野町地域公共交通活性化協議会

平成21年3月25日設置



概要

高野町は平成16年に世界遺産登録された「霊場高野山」を中心とした大小19の集落からなる町である。中心集落高野山では、自動車を利用した観光や日常生活が違法駐車などの問題を巻き起こしている。その他の18集落は過疎化が進み、自動車利用の困難な高齢者が増加している。これらの問題に対応するため、高野山内における公共交通主体のまちづくり、周辺集落における生活交通の確保方策の検討などを行う。

○地域公共交通の現況

- ・南海電鉄高野線(高野山駅他3駅)
- ・路線バス:南海りんかんバス(12系統)、奈良交通(1系統)
有田鉄道(1系統)
- ・コミュニティバス:高野山タクシー(1系統)
- ・乗合タクシー:有田鉄道(デマンド方式1系統、試験運行中)

○地域公共交通の課題

- ・高野山における公共交通・徒歩中心の交通体系への転換
- ・限界集落を含む周辺地区の生活交通の確保

○調査の主な内容

- ・観光客・参拝客の公共交通利用実態の把握
- ・住民・従業者の公共交通に対する意識の把握(懇談会開催)
- ・周辺集落の生活実態の把握(懇談会の開催)
- ・問題解決のための課題整理→方針検討→具体策検討

○地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・高野山内の路線バスネットワークの改編
- ・観光客・参拝客・生活者が利用しやすい仕組みづくり
- ・タクシーやスクールバスを活用した周辺集落における生活交通の確保

